

## 令和8年度入学 一般選抜前期日程 数学 講評

### 第1問

#### 【出題のねらい】

数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱから、教科書の演習レベルの問題により、基礎力を問うた。

#### 【講評】

問2、5は良好な成績であった。問1、3、4は予想外に完答が少なかった。特に問1では「または」の否定を苦手とする受験者が散見された。問3、4では、指数・対数、微分（積分）については基本的な問題を通じて、柔軟に対応できる力の定着を期待したい。

### 第2問

#### 【出題のねらい】

数列の問題として、やや応用レベルの問題により、問の条件が示す状況の一般的な把握と、数列の基本的な処理への習熟度を問うた。

#### 【講評】

平面上の直線の配置とそれらにより定まる部分の個数という、幾何的な題材による数列の問題であった。（1）の具体的な数え上げの際に、平面を有界な四角で表すことで、3本の直線が定める部分のすべてが把握できず、数え間違えている解答が散見された。問題を把握する上で情報の欠落が生じる捉え方の一例として注意を促したい。

### 第3問

#### 【出題のねらい】

平面ベクトルの基本問題により、ベクトルや内積の図形への応用力を問うた。

#### 【講評】

内分点の公式に不慣れな受験者が散見された。問題自体は基本的であるため、完答に近い解答も少なからず見られた。基礎的な概念・公式への習熟が出来を分けた問題となった。

#### 第4問

##### 【出題のねらい】

教科書の演習問題レベルの問題により、連続型確率変数の基本的な理解を問うた。

##### 【講評】

連続型確率変数、確率密度関数についての基本的な事柄を問うた。離散型確率変数として処理している解答が散見された。また、連続型確率変数の期待値、分散の定義とその計算について不慣れた受験者が多く見られた。積分の基本的な計算も含めて基礎力の確実な定着を求めたい。